

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	17年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	07 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	02 病院事業
事務事業名	02	備前病院運営事業	
根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例		
担当課(室)	市立備前病院		
職・氏名	庶務係長 藤澤昌紀		
電話	0869-64-3385		
このシート作成に要した時間	7.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	市民に安全で良質な医療を提供することを病院の理念としており、安定的な経営を行うことによって、地域の皆様に信頼され、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
病院運営(各種委員会)	病院の機能評価委・業務・医療改善		
労務管理	病院職員の労務・健康管理		
施設管理	病院施設の管理		
財務管理	病院運営の財務管理		
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務		
右欄の評価の説明			
<妥当性評価>	運営状況は厳しいが、入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには、必要不可欠な事業である。		
<効率性評価>	バス路線の変更による通院対象地域の縮小、市立の他病院の新築、外科医引上げ等の影響による患者減など、経営環境は引き続き厳しいままであるが、懸案であった新病院の建設が平成22年度から着工したため、職員一丸となって経営の立て直しを図り、地域住民のニーズに沿った病院となるよう院内で協議を重ね、患者と医療の両サイドの目線に沿った機能性・効率性の確立を大前提として取り組む必要がある。		
<有効性評価>	地域の人々に信頼される病院として、安全で良質な医療の提供を行うことを理念としている。その理念を常に現実のものとするためには、施設の維持・整備を進める必要があるため、利益を確保しなければならない。		

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成22年度事業)					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	100	100	100
決算における経常収支比率	実績値(B)	86.1	92.9	95.02	到達目標値
	達成率(B/A)	86.10%	92.90%	95.02%	100

成果指標設定の考え方・式や説明

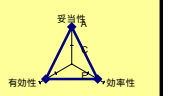
経常収支/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 経常収支比率、職員給与費率、病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすいの経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで を選択)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	A
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標がら有効性を評価に留意しな

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	事業全体の中で、可能な部分について効果的な事業を実施する。備前市病院事業経営評価委員会において、備前市病院事業改革プランの進捗状況について点検及び評価をするとともに、病院事業の経営に係る事項について調査及び検討を行い、人材確保等、経営改善の充実を図っていく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
各委員会を定期的に開催し、業務改善・安全管理・院内感染対策など、安全・安心な医療提供について、協議し、改善につなげている。入院患者については、若干であるが改善方向にある。	評価区分 <A~E>	B
懸案であった新病院の建設については、平成22年度に着工し、23年度中の開業を目指している。今後は、新病院開院に続いて電子カルテを導入して患者の待ち時間を解消したり、3病院連携で実施する業務等をより一層充実させる。		



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	新病院効果により、開院当初は、外来・入院患者共に増加するものと思われる。その効果を一過性のものと終わらせないために、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実施するとともに、電子化による3病院の連携の充実や経営統合、経費削減に努め、健全経営を目指す。					

Action

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		20,010	24,914	25,219	
	必要人員(人件費)	千円	4.89人	43,449	6.60人	59,411
	事業費計		63,459	84,325	82,699	
	国県支出金		284	794	1,979	
	受益者負担					
	繰入金(市)	千円				
その他(一般財源)			63,175	83,531	80,720	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標量	人	説明	1,478	1,478	1,533	
対前年比	%		112.0%	100.0%	103.7%	
活動コスト	円		18,199,000	18,314,000	17,039,000	
単位当たりコスト			12,313	12,391	11,115	